

# コモンズ30+しずぎんファンド

追加型投信 / 内外 / 株式



## 基準価額の推移

2014年12月29日 ~ 2024年2月29日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



## 運用実績

2014年12月29日 ~ 2024年2月29日

### 基準価額

23,482 円

(前月末比)

+1,027 円 (4.57%)

### 純資産総額

18.3 億円

(前月末比)

+0.6億円 (3.86%)

### 騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	4.57%
3ヵ月	14.51%
6ヵ月	13.73%
1年	34.61%
3年	52.68%
5年	95.21%
10年	-
設定来	134.82%

### 分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2019年12月	0円
2020年12月	0円
2021年12月	0円
2022年12月	0円
2023年12月	0円
設定来合計	0円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配落後です。※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



## ポートフォリオの構成比

種別	比率
コモンズ30ファンドマザー	91.7
静岡銀行株式	7.9
現金等・その他	0.4
構成銘柄数	32社



## ポートフォリオの状況

### 業種別比率

機械	20.3%
電気機器	15.4%
化学	13.5%
サービス業	8.8%
卸売業	8.1%
輸送用機器	6.8%
食料品	4.5%
その他製品	3.5%
情報・通信業	3.3%
小売業	3.1%
金属製品	3.0%
医薬品	2.3%
建設業	1.6%
陸運業	1.2%
その他	4.7%

### 未来コンセプト別比率

精密テクノロジー	16.6%
ウェルネス	16.4%
生活ソリューション	12.8%
資源・エネルギー	9.6%
快適空間	8.7%
新素材	8.5%
未来移動体	6.8%
地球開発	6.4%
ライフサイクル	5.7%
社会インフラ	3.7%
その他	4.7%

## 組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	5.0%
2 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが脈々と続く「革新」を続けるグローバル企業	4.8%
3 三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	4.7%
4 味の素	ウェルネス	「食と健康の課題解決企業」としての認知を広め、コーポレートブランド価値向上を目指す	4.5%
5 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.9%
6 日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、社会課題を解決する	3.7%
7 デンソー	未来移動体	モビリティ社会で価値を創造し続ける	3.6%
8 ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.6%
9 堀場製作所	精密テクノロジー	「おもしろおかしく」、時代に合わせて領域を拡大	3.6%
10 任天堂	生活ソリューション	娯楽を通じて人々を笑顔にする会社	3.5%

※「業種別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



## 運用状況

### ◎運用レビュー

2月のファンドの月間リターンは+4.57%の上昇となりました。

### ◎運用責任者メッセージ

2月の内外株式市場は、米国大手テクノロジー企業の好決算を受け世界的な株高となりました。米国主要株価指数が史上最高値を更新しましたが、日本株でも日経平均株価が1989年の高値を抜いて史上最高値を更新したことは世界的に注目されました。1月に続いて海外投資家が大幅な買い越しを続けていますが、個人投資家は1月に続いて2月も大幅な売り越しとなっています。業種別では東証33業種で、輸送用機器、保険業、石油石炭が騰落率上位、繊維製品、海運業、食料品が下位となりました。

当マザーファンドは、月間で+4.33%の上昇、投資先31銘柄中17銘柄が値上がり、14銘柄が値下がりとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+4.93%、日経平均株価は+7.94%の上昇となりました。

当ファンドの株式の組入比率は、95.3%と前月比+0.8%の上昇となりました。個別銘柄の月間騰落率では東京エレクトロン+32.32%、楽天G+26.06%、三菱商事+24.95%が上位3銘柄となりパフォーマンスをけん引しました。下位3銘柄は、日揮HD▲21.65%、ダイキン工業▲11.35%、ヤマトHD▲11.01%となりました。当月、上場来高値を更新した銘柄は11銘柄、年初来高値を更新した銘柄は14銘柄ありました。なお、ベネッセHDのMBOに全株申し込みを行いましたので、3月末には、当該銘柄がポートフォリオから外れる予定です。

生成AI革命を先取りする半導体関連が世界的に株式相場をけん引しています。急ピッチな上昇に調整もあると思いますが、中長期的な大きなテーマであることは変わりません。引き続き、丁寧な調査・運用を継続していきます。引き続き、当ファンドをどうぞよろしくお願い申し上げます。

最高運用責任者 伊井 哲朗

### 投資委員会メンバー

○伊井哲朗、上野武昭、末山仁、原嶋亮介、古川輝之/○は最高運用責任者

組入比率と組入銘柄については、マザーファンドについての記載となります。



## 新規組入投資先

なし



## 今月のピック！

### ■ (8035) 東京エレクトロン

東京エレクトロンは、2月9日に2024年3月期第3四半期決算を発表しました。年度初からの3四半期累計（4月～12月）では前年同期比で大幅な減収減益となりましたが、第3四半期の3か月間（10月～12月）では、直前の第2四半期（7月～9月）比で増収増益となり、**業績の方向性は第1四半期をボトムに上昇傾向が続いています**。グローバルでのPC、スマートフォンなどの需要減少により半導体需要が低迷し顧客の半導体メーカーなどの投資需要減退は続いています。半導体の自給率向上に向けた中国における半導体設備投資が前年度に引き続き堅調に推移したことや、生成AI向け用途の引き合いが増加していることなどが業績を下支えています。

また、顧客の設備投資動向や足元の業績動向を反映して通期業績見通しを上方修正しました。2024年度に向けては、中国での設備投資が継続することや、年後半には最先端のメモリ投資が回復するとの見通しを示していますので期待感を持って注視していきたいと思えます。

シニア・アナリスト 末山 仁

### ■ (8113) ユニ・チャーム

ユニ・チャームの2023年12月期決算は、売上高は前年同期比4.9%増、コア営業利益は同7.0%増という結果となり、売上高、コア営業利益ともに過去最高を更新しました。中国においては、サプライチェーン上の在庫の積み上がりによる調整に加え、ALPS処理水放出を受けてECのセールのタイミングでインフルエンサーマーケティングができなくなったことなどにより、売上高では前年を9%下回る低調な業績となり、その影響もあって期初に発表していた計画には売上高、コア営業利益ともにわずかに届きませんでした。

その一方で、インド、中東・サウジアラビア、ブラジルといった**成長市場においてはシェア上昇も相まって高い成長を実現**しており、こちらは今後に向けてさらに期待が高まる内容であったと考えています。決算と同時に発表した2024年12月期の業績予想においては、2023年12月期との比較で売上高が6.8%増、コア営業利益が12.5%増という意欲的な数字を掲げており、中国市場の巻き返しと先に述べたような成長市場でのさらなる事業拡大がカギになりそうです。

シニア・アナリスト/ESGリーダー 原嶋 亮介

### ■ (8002) 丸紅

丸紅は中長期的に着実な利益拡大が続くと予想されます。2024年3月期第3四半期累計（4～12月）当期利益は3,715億円、前年同期比20%減益。通期の当期利益計画は、第2四半期決算時に上方修正した4,500億円、前期比17%減益を維持しました。セグメント別に影響度が大きい事業を見ると、前期比で海外発電事業は増益の見通しですが、商品価格下落による豪州原料炭事業の減益、肉牛の処理加工販売事業の減益や前期の穀物事業売却益の反動、などが響く形となります。

同社では、既存事業をさらに伸ばすことが確実性の高い成長戦略であると認識し、**成長投資においても既存事業の充実や既存事業領域の戦略追求に資金を重点配分**しています。こうした、投資効果が2025年3月期以降の業績にプラスとなって出てくると期待しております。

シニア・アナリスト 上野 武昭



## ちょっといい話

### 【こどもトラストセミナーでリンナイを体験しよう！】

4月からお子さんが新しいステージに進むご家庭も多いと思います。

最近、こどもトラストセミナーにご参加いただく親御さんから、**こどもが成長してこのイベントに参加できるのを楽しみにしていた**、という声をたくさんいただくようになりました。

コモンズ投信は親から子、子から孫へと世代を超えられる投資の実現のため、資産形成にふさわしい商品を提供しています。

また、次世代育成という位置づけの重要な取り組みとして、こども向けに社会課題について知るイベントやお金について学べるセミナー、そして、投資先企業にこども投資家として訪問しその企業について知るイベントを10年以上にわたり実施してきました。

コモンズ投信のファンドを通じて、**会社に興味を持ったり、社会とのつながりを感じたり、働いている人や場所を見学したりすることは、明るい未来を信じる力を育み、投資の本質である「企業の成長を応援すること」を実体験として学べる大切な機会だ**と考えているからです。

そのこどもトラストセミナー、春休みには、コマツとリンナイで開催いたします！

リンナイはコンロや給湯器をはじめとした、生活に欠かせない住宅設備機器を通じてみなさんの生活の豊かな生活をささえている会社です。

今回はリンナイのガスコンロなどの厨房機器を作っている愛知県にある大口工場、からくり改善と工場見学ツアーを行います。

では、「からくり改善」とはどのようなものでしょうか。

例えば、工場内でものを運ぶことを考えてみましょう。重い部品を次の工程へ送る際に、機械を使って動かすのではなく、少し傾斜をつけて動かすだけで、電気を使わない「省エネ」な工場になりますよね。

そして、こういった改善を行うことで、「効率よく楽に」作業ができます。

このように、からくり改善とは、「人工的なエネルギーを使わず歯車やこの原理など簡単な機構や仕組みを使って、環境負荷と作業負荷の低減を目的とした取り組み」のことを指します。

実際に現場で使用されている「からくり」ですが、例えば、この原理などは小学校で習うものです。皆さんも経験があると思いますが、小学生の時に支点を動かすだけで重いものが持ち上がって感動したこの原理は、実は工場内の現場で活躍しています。

その他にも様々な「からくり」によって、工場内の重労働の改善や作業効率の改善、省エネの改善などが行われており、今回のイベントでは親子でこのような「からくり改善」を体験し、実際の工場に移動して現場のからくりを見学します。

ぜひ、この春もコモンズとご一緒ください！



人形を使った「からくり改善体験」の様子

マーケティング部 齋藤 亮



## 未来がはじまる場所になる。

当ファンドの投資先企業である、しずおかフィナンシャルグループ（以下：しずおかFG）における取組みを紹介するコーナーです。

コモンズ30+しずぎんファンドは、環境の変化やグローバルな競争が激しい時代を乗り越え、豊かな生活と地域社会への貢献を目指す未来志向な地域金融の実現を、地域の金融機関への投資を通じて目指すファンドです。

「未来がはじまる場所になる。」をスローガンに掲げる、しずおかFGが地域の明るい未来に向けてどのようなマテリアリティ（取り組むべき重要課題）に取組み、社会価値の創造と企業価値の向上の両立の実現に向けた挑戦を続けているのか、しずおかFGの従業員の皆さんとの対話を通じてご紹介していきます。

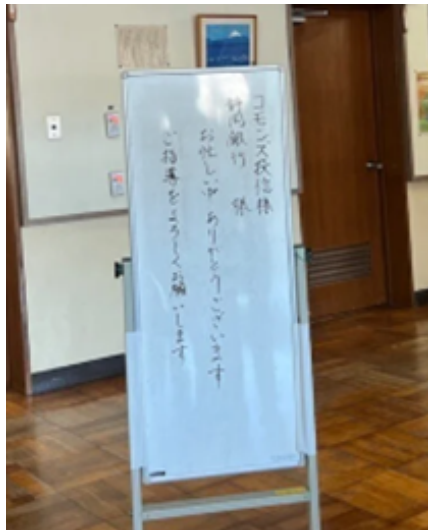
今回は、しずおかFG子会社の静岡銀行とコモンズ投信が地域の将来を担う「未来世代」を対象に行う「金融経済教育」について、ご紹介したいと思います。

最近「金融経済教育」という言葉をよく聞くようになりましたね。

2022年4月から高校で「金融教育」が必修化されたことや、新NISA導入による投資への関心の高まりなども影響しているかもしれませんね。コモンズ投信も各方面で講師を務めています。

運用会社がそういった役割を担うことはもちろん、最近では、地域の信頼できる金融機関にまず依頼するという、先生や地域の方も増え、ファンドの販売提携先でも相談が増えているという声を耳にします。

そのような中で、今回は私の出向元でもある、静岡銀行（藤枝支店・御殿場支店・東部カンパニー）と連携し、静岡県内の中学校で開催した金融教育の様子をご紹介します。



授業は以下の2本柱で進めました。

- ①資産づくりの基礎知識を学ぶ
- ②エクイティストーリーづくり

まず、なぜ投資が必要なのかということや、長期での資産形成に必要なポイントを説明し、その後、投資したいと思う企業を1つ選んでもらい、その企業の成長ストーリーを探るグループワークを行いました。

グループワークでは、企業が発行する統合レポート（財務と非財務情報をまとめたもの）やホームページを参考に、「10年後も成長し続ける要素はあるか?」「社会にどう役に立っているのか?」「自分が就職するとしたらどうか?」といった視点で、企業の価値を見出していきます。

少し難しいかな・・・と様子を伺っていましたが、とても盛り上がり、あっという間にタイムオーバー。共有タイムでは学生視点も交え、生徒の皆さんたちなりのエクイティストーリーを堂々と語る姿が印象的でした。

今回、授業を実施した学校では、既に仮想の株式ゲームを取り入れていたため、タブレットでチャートを見たり、注目銘柄の話をしている生徒さんもあり、中学生も「投資」する時代なのか、と大変驚かされました。

また、SDGsや未来のための貢献度が大きい、という投資理由を持つ生徒さんも多く、時代の進化を感じました。





左から、静岡銀行御殿場支店後藤さん、マーケティング部森田、マーケティング部齋藤、静岡銀行東部カンパニー長堀さん

授業の最後には、コモンズ投信から大切なこととして

「どんなお金の使い方をしたときに、自分が心地よいのかを見つめる」

「お金は目的を達成するための手段に過ぎない」

この2点を伝えて締めくくりました。

この経験をきっかけに、お金に対する自分なりの価値観を育み、自分の人生をより豊かにできる大人に成長してほしいと思います。

引き続きコモンズ投信は、販売提携先とも同じ価値観を共有することで、より深く、投資について考えていただく場を提供していきたいと思っています。

マーケティング部 森田 菜月



## 販売会社一覧

販売会社名	登録番号	加入協会			
		一般社団法人 日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第10号	○			
株式会社 SBI 新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○	

当ファンドは、NISA制度における「成長投資枠」の対象商品ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、各販売会社にお問い合わせください。





## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませぬので、ご注意ください。

### 基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



## その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



## お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/内外/株式
	信託設定日	2014年12月29日
	信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
	決算日	原則として毎年12月18日（休業日のときは、翌営業日を決算日とします。）
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
	換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
	換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



## ご注意事項

- ・本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ・ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ・このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



## 関係法人

### 委託会社

コモンズ投信株式会社  
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 VORT平河町II 5階（旧 平河町Kビル）

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

### お問い合わせ先

- コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）03-3221-8730
- ウェブサイト <https://www.common30.jp/>